

昭和六十三年三月二日提出
質問第一四号

国道二九八号線工事に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和六十三年三月二日

提出者 新村勝雄

衆議院議長 原健三郎殿

国道二九八号線工事に関する質問主意書

国道二九八号線に関して次の点につきお答え願いたい。

- 一 国道二九八号線は、第四次全国総合開発計画の中でどのように位置付けられているか。
- 二 該道路の果たすべき機能、性格は何か。
- 三 公共事業は、全体の利益の名において一部の国民に受忍を強要する場合が多い。これに対して政策的に救済の方途を講ずべきであると考えるが、政府の考えを承りたい。
- 四 国道二九八号線が予定どおり完成した場合、付近の環境に与える影響については、どのように予測しているか。
 - イ 完成時直近の家屋に与える振動の程度。
 - ロ 完成時側道の中心点において排ガス（NOX値）は住宅地区の現在値よりいくらか増加する

か。

ハ ロの地点において騒音の増加量はいくらか。

五 本工事により移転を要する戸数は二、一〇〇戸と推定されるが、移転先は確保されているか。その場所、規模等を示されたい。

六 地上の建物を移転させることなく、完全地下構造とする工法は現在の技術により十分可能と
思うがどうか。

現在供用している最長のトンネル道路はどこか。その構造を示されたい。

七 本計画のように、全くの新設道路を、大都市の中心部を貫通して新設する構想は無謀と思
う。一か所で二千戸以上の移転を伴った新設工事を例示されたい。

右質問する。